

一般質問通告表

平成19年第1回沖縄県議会(定例会)

03月01日(木)

順位	時間	氏名 (会派)	答弁を求める者
1	20分	岸本 恵光(自民党)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
1	物流問題について		
(1)	県民の生活物資である輸入品が本土並み価格で買えるよう、沖縄一本土間の現物流コスト高の低減化が必要であるが方策を伺いたい。		
(2)	現在、本土からの生活物資等が1対9の割合で移入超過になっており、片荷改善が不可欠であり、産業基盤の弱い沖縄県で本土からの貨物コンテナの帰り貨物の絶対量をふやすための方策として考えられるのではないか。		
(3)	那覇国際コンテナターミナルの供用開始はどのようになっているか。また混載物流の「保税倉庫」を設置し、韓国や中国のように60日以内は無料で使えるような魅力づくりが企業の進出実現につながると考えるがどうか。		
(4)	民間企業の努力によるコスト低減には限界があり、国・県による政策的物流を構築することが県産業の確立と雇用拡大につながると考えるがどうか。		
2	港湾問題について		
(1)	北部地域の流通観光拠点港の整備を目指し「本部港港湾振興ビジョン」は、当初の340メートルのバース延長計画が130メートルに縮小されたが、その経緯について説明を求める。		
(2)	平成18年度から調査費が計上されましたが、北部には物流の拠点が乏しいため早期拡張整備を求められている。今後の事業計画を伺いたい。		
(3)	昨年、台風により本部港が大きな被害を受け、12月補正予算に災害復旧費が計上されたが、これで完全復旧が可能であるか伺いたい。		
3	農林水産業問題について		
(1)	さとうきびの基幹作物としての存続について		
ア	さとうきびの搾りかす(バガス)を原料とした食物繊維食品が開発され付加価値産業として注目されているが、県はどのように認識されているか伺う。		
イ	開発された食物繊維食品は、さとうきび1トンから約500キログラム製品化され、この製品は1キログラム当たり1000円で食品メーカーに出荷されるようで、さとうきび2万円は50万円の高付加価値がつくことになるが県の認識を伺う。		
ウ	県内業者でオーストラリアと同じ製法で同じ品質のバガス食品を沖縄のさとうきびからつくりたいとのことであるが、県との協力関係はどのようになっているか。		
エ	現在の平均単収5トン(10万1000円)では生産費を差し引けば農家手取り額はほとんどない。きび作農家の生き残り策は単収(8から10トンアップ)と付加価値産業の育成が必要と考えますが、御見解を賜ります。		
オ	日豪の経済連携協定(EPA)交渉が間近に迫っている。その目的は国際貿易上の関税削減や国内保護政策の撤廃にあると言われているが、県はどのような対策があるか。		
(2)	「防風林の日」と「松くい虫対策」について		
ア	植樹関係者はすべて農業関係であり、多くの県民に呼びかけて防風林への理解を高めさせることが大切と考えるがどうか。		

- イ 沖縄県は去る大戦により多くの樹木を失い、また先人たちが植樹した海岸沿いのモクマオウが大分枯れている。防風林・防潮林だけではなく、観光産業の観点からも植樹の意義は大きく、緑豊かな美ら島にするため各町村で毎年植樹を実施すべきではないか。
- ウ 仲井眞知事の政策の中で、防風林・防潮林の道路緑化を効率的に組み合わせ、住宅など町全体の緑化を含め100年先を見据えた全島緑化事業との関連はどうなっているか。
- エ 松くい虫の対策として、県は平成18年度補正予算で抵抗性松をどの地域に植栽したか。また、新年度の事業計画と天敵昆虫による松くい虫被害防止の研究で職員の対応はどのようになっているか。

4 観光問題について

(1) 観光客年間1000万人の誘致について

- ア 健康文化型観光の構築を図り、沖縄県特有の民俗芸能を幅広く取り入れ、食文化の満足度を高める方策を伺う。
- イ 滞在日数が少ないのは、観光拠点と観光メニューが不足していることが一因としてあり、もっと観光拠点をふやし、環境美化整備が必要であるがどう考えているか。
- ウ 何度も質問しておりますが、本県の表玄関である空港から山下交差点までと、泊交差点北側の植栽ますの沿道植栽美化をどのように考えているか。
- エ 2006年の観光収入4125億円は県経済を支えていると言われているが、その割には観光関係予算が非常に少ない。入域観光客増の目標に向け予算の大幅増を求めるがどうか。

5 基地問題について

(1) 東村の福地ダムなどで米軍のペイント弾が見つかった問題について

- ア ペイント弾、手りゅう弾、照明弾等の県民の水がめでの発見は、水質に問題はないとはいえ、水質管理上大きな問題としてとらえるが、県の見解と今後の対策について伺う。
- イ いまだに原因究明がなされていないことは名護署が発見物を「返却してくれない」とのことであるが、その理由は何か。

(2) 東村のヘリパッド建設問題について

- ア 米軍の北部訓練場においては、昼夜を問わず民家上空を低飛行訓練により騒音で悩まされている現状に対し、県はどのような対応策があるか伺う。
- イ 高江区だけでなく、隣の宮城区や学校の上空で飛行訓練が行われている現状に対し、建設の撤回や移設の再検討を求めるが県の対応を伺う。

(3) 宜野座村松田区でのMEU（第31海兵遠征部隊）国道訓練について

- ア 米軍が民間地域で軽機関銃を国道に向けて構える等の訓練を実施していることに対して綱紀肅正を徹底させるべきと思いますが、県の今後の対応策を伺う。

6 北部振興策について

(1) 北部振興策の継続について

- ア 後期5カ年間の継続事業として計画を作成し事業が進行中である。途中で予算が打ち切られると公共事業及び予算編成に大きな影響が出て予算が組めない状況になる。国の考えはどのようになっているか伺う。

イ 今の振興策が平成20年度から廃止された場合、新たな振興策の策定を国に対し求めるべきと思いますが、県の考えを伺います。

7 北部の医療問題について

(1) 県立安田診療所、古宇利診療所の休止について

ア 両診療所の休止については住民を不安に陥れている。新年度（4月）から診療所を休止するのではなく、住民側の不安を解消するには時間をかけて検討してほしいがどうか。

イ 診療所の休止にかわる医療サービスがあるか。またドクターフェリーの早期導入は重要な課題と思いますが、県の計画はどのようなになっているか伺う。

(2) 県立北部病院の産婦人科医師確保について

ア 防衛庁から産婦人科医師が派遣されたが、十分に対応ができず、安心して出産できる状況にない。医師の勤務体制と今後の計画を伺う。

8 国道449号の早期整備について

(1) 国道449号の工事進捗状況と用地取得の状況はどうなっているか。

(2) 道路の整備計画は事業年度昭和57年度から平成17年度であったが、大幅におくれている。その要因と総事業費、工事完了予定について伺いたい。

一般質問通告表

平成19年第1回沖縄県議会(定例会)

03月01日(木)

順位	時間	氏名 (会派)	答弁を求める者
2	20分	前島 明男(公明県民会議)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
1	<p>自立型経済の構築に向けた産業の振興と雇用の創出について</p> <p>(1) 観光リゾート産業について</p> <p>ア 10年後の観光客数1000万人を目指した重点的な施策について御説明願いたい。</p> <p>イ 平成19年度の入域観光客数を590万人に目標を設定した根拠は何か。</p> <p>ウ 10年後の外国人観光客数を100万人と見据えた根拠は何か。</p> <p>エ 入域観光客数を飛躍的に伸ばしていくには、今以上に四季折々に多彩なイベントを打つ必要があると思うが、今後どのような計画がありますか。</p> <p>オ フィルムオフィスによるロケ撮影誘致の実績と今後について</p> <p>カ 多様なエンターテイメントづくりはどうなっていますか。</p> <p>キ 観光マイスター制度(仮称)について御説明願いたい。</p> <p>ク 美ら島沖縄大使について伺います(経過等)。</p> <p>(2) 雇用の創出について</p> <p>ア 雇用創出のための人材育成をどのように計画していますか。</p> <p>イ 観光関連産業による雇用の創出を何人見込んでいますか。</p> <p>ウ 企業誘致による雇用創出を何人見込んでいますか。</p> <p>エ 4年間で失業率を本土並みの4%台に持っていくアクションプログラムがあればお示してください。</p> <p>オ マザーズハローワークについて伺います。</p> <p>カ 失業保険のあり方について</p> <p>(3) 農林水産業の振興について</p> <p>ア モズクの養殖技術の改良・普及の現状はどうなっていますか。</p> <p>イ 海ブドウの生産状況と販売ルートの確立はどうなっていますか。</p> <p>ウ 琉球在来豚「アグー」の生産計画はどうなっていますか。</p> <p>エ 住宅地域における養豚場の悪臭対策はどうなっていますか。</p> <p>オ 県産農林水産物の消費拡大を図るためのマーケティングはどうなっていますか。</p> <p>カ さとうきびのしぼりかす、バガスを利用したヘルシー食品が注目を集めておりますが、詳しく御説明願いたい。</p> <p>(4) 製造業等地域産業の振興について</p> <p>ア 泡盛業界が進めている「古酒の郷」構想について伺います。</p> <p>イ 泡盛の海外展開戦略について伺います。</p> <p>ウ 「沖縄県中小企業振興基本条例(仮称)」を制定することになっておりますが、基本的な考え方と時期を伺います。</p>		
2	国際交流について		

- (1) オーストラリアのクイーンズランド州と我が県が友好関係を結ぶ考えはありませんか。
- (2) 今後の友好締結の計画があればお聞かせください。

3 健康福祉社会の実現と安全・安心な生活の確保について

- (1) 次世代育成支援について伺います。
 - ア 認可外保育園児の処遇改善は、新年度予算の上でどのようになされていますか。
 - イ 放課後児童対策として、現学童クラブへの助成はどうなっていますか。
 - ウ ファミリー・サポートセンターの設置計画を伺います。
 - エ 事業所内保育施設の設置を促進するとありますが、どのようなことを考えていますか。
 - オ 児童虐待については、いかに早く情報を入手するかにかかっていると思いますが、どのような対策を取っていますか。
 - カ 地域全体で子供の安全を確保する体制づくりの促進とありますが、教育長のお考えをお聞かせください。
- (2) 安心して暮らせる保健医療の充実について
 - ア 医療の充実も大事なことですが、その前に病気にならないような予防対策が重要であると考えますがどのようになっていますか。
 - イ 成人病の第一歩は太り過ぎからだと言われておりますが、全県民3キログラム減量作戦を（宣言）提唱する考えはありませんか。
 - ウ ドクター・ヘリ事業の導入はどうなっていますか。
 - エ 女性専用外来の設置はいつ制定する予定ですか。
 - オ 食の安全・安心条例をいつ制定する予定ですか。

4 情報通信基盤について

- (1) ブロードバンド環境の整備について伺います。
 - ア 南北大東村の2011年以後の通信網はどのようになりますか。

5 その他事項について

南大東島の漁港建設の残土で埋め立てられた土地の有効利用をどのように考えておられるか伺います。

6 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成19年第1回沖縄県議会(定例会)

03月01日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	20分	吉田 勝廣(県民の会)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
1	<p>経済振興について 知事は所信表明で「経済の自立なくして、沖縄の自立なし」との強い決意で産業の振興と雇用創出の確保を図ることを宣言したが、</p> <p>(1) 「経済の自立」とはどのような状態を指すのか伺う。</p> <p>(2) 「沖縄の自立」とはどのような状態を指すのか伺う。できれば経済諸指標や財政諸指数を活用して明示していただきたい。</p> <p>(3) 県経済の1972年代、1982年代、1992年代、2002年代、2006年代の特徴を伺う。</p> <p>(4) これまでの沖縄県の経済の自立及び産業振興の阻害要因を例記して、今後の解決策を伺う。</p> <p>(5) 県経済の県内総生額を平成2年から時系列的に明示し、九州各県、都道府県平均と比較してどうなっているか伺う。</p>		
2	<p>沖縄振興計画について 沖縄振興計画が施行されてから、35年目を迎える。政府はこれまで約8兆845億円が措置され沖縄振興開発に大きな役割を果たしたが、</p> <p>(1) 第3次沖縄振興開発計画の展望値と達成度について伺う。</p> <p>(2) 沖縄振興計画の後半がスタートしているが、これまでの展望値と達成度及び今後の見通しについて伺う。</p> <p>(3) 沖縄振興計画は、2012年3月までの時限立法で、その効力を失うが、これまでどおりの沖縄振興特別措置法の延長でいいのか、新たな法改正でいくのか伺う。</p>		
3	<p>沖縄振興特別措置法について</p> <p>(1) 沖縄振興特別措置法の特徴は高率補助と優遇税制である。そして、金融上の特別措置に沖縄振興開発金融公庫が担っている。政府は、1972年から2006年の34年間で、公共事業費7兆4675億円を措置した。そのうちの30%から35%が高率補助のかさ上げ分が2兆3000億とされている。そこで、伺う。</p> <p>ア 沖縄県が受けたこれまでのかさ上げ分は幾らか。</p> <p>(ア) 土木建築部</p> <p>(イ) 農林水産部</p> <p>(ウ) 教育委員会</p> <p>(エ) 文化環境部</p> <p>(オ) 福祉保健部</p> <p>(カ) 企業局</p> <p>(キ) 病院事業局</p> <p>イ 市町村分は幾らか。</p> <p>ウ 政府の財政危機に伴う補助率等の改正で、高率補助も改正されたと判断するか、その主なものを例記し、それにどう対処してきたのか伺う。</p>		

エ 三位一体改革の中で、国庫支出金（補助金）の一般財源化への方向性は加速すると判断する。県は、高率補助のかさ上げ部分を一般財源化ないし地方交付税等への計上を早急に政府や関係者に働きかけるべきだと考えるが、知事の見解を伺う。

オ 国庫支出金等のメリットとデメリットについて伺う。

カ 沖縄振興開発特別措置法の法案提出の趣旨説明の中で「本土からの遠隔の地にあり、多数の離島から構成される多数の不利な条件に深い思いを致し・・・」と説明した。この不利な条件を克服するために、どのような特別措置が講じられたのか伺う。

4 格差問題について

(1) 格差の原因について、有権者は、①90年代以降のバブルの崩壊で、リストラ及び不正規雇用の増大、②小泉総理による規制緩和と競争原理の導入、③累進課税等の税制の改正、④社会保障費の増大を挙げている。そこで伺う。県内の過去5年間に於ける

ア ニート、不正規雇用の推移。

イ 生活保護世帯の推移。

ウ 預金者の比率。

エ 無納税者の比率。

オ 貧困率は。

5 沖縄県の所得と賃金について

県民所得は47位と全国最下位で推移し、労働者の賃金も本土との格差は大きい。そこで伺う。

(1) 過去5年間の県民所得と、全国平均との比較。

(2) 過去5年間の最賃の額、及び8時間掛ける20日の額と、全国平均との比較。

(3) 過去5年間の5人以上（従業員）の平均賃金と全国平均との比較。

(4) 過去5年間の30人以上（従業員）の平均賃金と全国平均との比較。

6 公立保育所入所児、及び認可保育所児と認可外保育施設入所児との格差是正について

(1) 平成18年10月13日の本会議で格差是正に関する要請決議を行ったが、その後の県の施策について伺う。

(2) 公立保育所、認可保育所との認可外保育施設との入所児1人当たりの公的助成額は幾らか、格差の額は幾らか。

(3) 学童保育に対する過去5年間の助成金の推移と、児童1人当たりの助成金の額は幾らか。

7 県立北部病院附属安田診療所の存続について

(1) 安田区民は「安田診療所の存続の意義」（診療所が課している社会的役割）を冊子にまとめている。その中で、当診療所の役割の大きさを説明している。このような切実な要請を受けて県は、安田診療所存続についてどう判断しているか伺う。

8 ヘリパッド建設について

(1) 高江区民はヘリパッドの建設に反対しているが、県の対応について伺う。

一般質問通告表

平成19年第1回沖縄県議会(定例会)

03月01日(木)

順位	時間	氏名 (会派)	答弁を求める者
4	20分	辻野 ヒロ子(自民党)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 土木建築行政について</p> <p>(1) 新石垣空港建設について</p> <p>ア 工事の進捗状況と今後のスケジュールについて伺いたい。</p> <p>イ 自然環境保全対策について伺いたい。</p> <p>(ア) 赤土流出対策について</p> <p>(イ) 小型コウモリ類の希少種等の対策について</p> <p>ウ 用地取得の状況はどうなっているのか伺いたい。</p> <p>(ア) 契約に至らない主な理由は何か。</p> <p>(イ) 事業認定の手續も視野に入れているか。</p> <p>(ウ) 今後の見通しはどうか。取得が困難な場合は最終的にどのような手段を考えているのか。</p> <p>(2) 県営登野城団地建てかえ工事(2期工事)について</p> <p>ア 進捗状況と今後のスケジュールについて伺いたい。</p> <p>イ 地元業者の活用で分離・分割発注について伺いたい。</p> <p>ウ 進入路、周辺道路の整備について伺いたい。</p> <p>エ 下水道の排水処理について伺いたい。</p> <p>オ 社会福祉施設(保育所や高齢者施設等)の併設について計画はあるか。計画があれば内容について伺いたい。</p> <p>2 福祉行政について</p> <p>(1) 県立病院の医師確保について</p> <p>ア 八重山・宮古病院の脳神経外科医確保について伺いたい。</p> <p>イ 産婦人科医師不足に伴う助産師育成について伺いたい。</p> <p>(ア) 「助産技術研修」の内容と今後の見通しについて</p> <p>ウ 医師不足対策として、医師確保事業の内容と支援について伺いたい。</p> <p>(2) 児童虐待の現状と取り組み状況について</p> <p>ア 相談処理件数と種別件数の推移について伺いたい。</p> <p>イ 体制の整備と取り組みについて伺いたい。</p> <p>(ア) 「児童虐待問題対策検証委員会の設置」に伴う今後の具体的な対応について</p> <p>ウ 「中央児童相談所八重山分室」の進捗状況と今後の体制について伺いたい。</p> <p>エ 一時保護所の必要性について伺いたい。</p> <p>(3) 園児、小学生に流行のヒトジラミ対策について</p> <p>ア 発生状況を把握しているのか伺いたい。</p> <p>イ 原因調査や対策について見解を伺いたい。</p>			

3 環境行政について

(1) 海岸漂着ごみ問題について

ア 現状と取り組み状況、対策について伺いたい。

(ア) 特に外国からの漂着ごみが増加傾向にあり、その対策について国際的な取り組みが進められているようだが、その状況についてどうなっているのか。

(イ) 「漂流、漂着ごみ問題に対する国の関係省庁連絡会」が平成12年に発足しているが、取り組み状況と対策についてどうなっているのか。

4 離島・過疎地域の振興について

(1) 情報通信事業について

ア 先島地区地上デジタル放送推進事業の概要について伺いたい。

イ 地上デジタル放送移行に伴い民放、国、県、市町村が一丸となって取り組んでいると思うが、県として役割はどのように果たすのか伺いたい。

ウ 平成5年に先島地区の民放放送事業(情報格差是正事業)は県が実施したが、その責任は、今後とも継続すべきだと考えるが見解を伺いたい。

エ ICT交付金の助成事業スキームで、平成19年度限りとあるが、時間的猶予はあるか伺いたい(補助率3分の1で、3分の2の地方負担分は厳しい)。

5 観光行政について

(1) 「ビジットおきなわ計画」の主な概要について伺いたい。

(2) 平成19年度の観光客590万人目標に対する誘客戦略についてどのような取り組みをするのか伺いたい。

(3) 石垣—台湾間のチャーター便運航に伴う県の支援について伺いたい。

ア 飛行時間短縮のため、新たな飛行通過点(航空路)の設定について伺いたい。

イ 国際便にも航空運賃の軽減の適用(沖縄振興特別措置等)ができないのか伺いたい。

6 県花(デイゴ)被害対策について

(1) 前回被害実態調査を実施するとの答弁であったが、その被害実態調査結果について伺いたい。

(2) 防除の試験研究は、森林資源研究センターで行っているとの答弁であったが、その進捗状況について伺いたい。

(3) 薬剤防除試験の結果等を踏まえ防除対策を検討するとの答弁であったが、その防除対策について伺いたい。

一般質問通告表

平成19年第1回沖縄県議会(定例会)

03月01日(木)

順位	時間	氏名 (会派)	答弁を求める者
5	20分	國場 幸之助(自民党)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
1	平和行政について		
(1)	知事の平和行政に対する考え方と目玉事業は何か。沖縄平和賞の稲嶺知事、平和の礎の大田知事、沖縄全戦没者追悼式典平和宣言を始めた平良知事、旧沖縄県平和祈念資料館を開設した屋良知事と、歴代沖縄県知事は平和行政に対し格段の配慮と情熱を傾けてきた。新知事は、平和行政に対し今後どのように取り組んでいくのか。そして、「地球共生国際機構(仮称)」とは何で、どのように具現化していくのか。		
(2)	歴代沖縄県令・県知事・行政主席等として約40代目、公選知事として6代目にして恐らく初めて中国人のDNAを継承し中琉協会の会長を務める仲井真知事だからこそ担うべき平和行政は、中国と台湾の友好平和の実現、兩岸外交に貢献することではないか。2007年の日中国交回復35周年記念、2008年の北京オリンピック、台湾総統選挙、2009年、世界最大の水力発電所、三峡ダムの完成、2010年の上海万博と多くのビッグイベントが知事の任期中に続くが、アジアの平和構築のために「世界の宝、沖縄力」を活用する考えはないか。		
2	沖縄科学技術大学院大学事業に関連して		
(1)	小中高一貫の沖縄インターナショナルスクールが目指している方向性と構想(運営主体、財源、スケジュール、大学院大学の子弟との関連等)は何か。		
(2)	ドイツ、イタリア、米国などが立候補を表明しているマリンジョノミクス国際学会の設立総会を沖縄で開催する考えを明らかにしたようだが、その内容を示してほしい。		
3	道州制について		
(1)	道州制の取り組みは、政府・与党・渡辺喜美担当大臣は意気込み、全国知事会等地方側は機運が盛り上がっていないようだが、地方制度調査会で単独道州を位置づけられた本県にとっては100年に一度の統治機構の革命となる。県でも県庁有志職員や部長級の勉強会だけでなく、さらに踏み込んだ担当課や横断的な組織が必要ではないか。		
4	観光客1000万人誘客の実現に向けて		
(1)	平成19年度の観光事業の目玉である戦略特化型観光客誘致重点事業とは何か。		
(2)	那覇空港沖合展開事業のステップ3に向けた平成19年度は極めて重要な年である。進捗状況はどうか。滑走路配置案を16案から5案に絞り込み、環境等への影響も明らかにしながら県民の意向を確認すると推測されるが、拡張整備に向けた気運の高まりも不可欠だ。シンポジウム等の予定があれば明らかにしてほしい。		
(3)	新石垣空港整備事業の年度別の計画を、環境保全対策と地元や土地開発公社等とどのような協力関係になって推進しているのかを関連づけながら簡潔に説明してください。		
(4)	エンターテインメント検討委員会の構成委員の選考基準と、委員会の役割と今後のスケジュールを明らかにしてください。		
(5)	慢性的な交通渋滞や低迷するバス交通に対しどのように取り組んでいくのか。また、基幹バスを中心としたバス網再構築計画はどのようなものですか。		

- (6) 観光客訪問地第1位の国際通りは、修学旅行生や団体旅行客の貸し切りバス駐車場がなく、県議会前に縦列駐車をする状態が年々増加傾向にある。トイレも対応不足で、県議会を使用する状態も多々見られる。このような状態をどう受けとめ、今後対応策に取り組んでいくのか。

5 沖縄県地球温暖化対策地域推進計画について

- (1) 本県の削減目標は「温室効果ガス総排出量を2010年度までに2000年度レベルから8%削減すること」を掲げているが、目標達成は厳しいと思われるが現状はどうか。また、現在実証実験中のバイオエタノールの導入や継続事業の地球温暖化等対策事業、新規事業の循環型社会形成促進事業の推進等で2010年度までに地域の地球温暖化対策にどの程度貢献できるのかを明らかにしてほしい。

6 長寿世界一復活プロジェクトについて

- (1) 僻地医療に対する基本的な考えと、「世界に誇れるユニバーサル・サービス」を公約に掲げた知事の安田診療所廃止に対する判断について
- (2) 地域がん診療連携拠点病院機能強化事業と「重粒子線がん治療施設」の沖縄誘致について
- (3) 2005年度の県内3歳児の虫歯有病率は45.5%と4年連続全国ワーストワンである。保育施設や学校教育現場で虫歯予防に大きな効果があると証明されたフッ化物口内洗浄がどれだけ実施され、今後どのように普及啓蒙していくのかを教育長に問う。

7 新規雇用4万人台の創出について

- (1) 4年後の約3万8000人新規雇用創出の実現のためには、現状の各産業における雇用者数の把握と将来予測が不可欠である。過去のトレンドを踏まえた上で現状の推移から予測される4年後の1次、2次、3次産業の就業人口をどのように考えているのか。特に、これからの1次産業と建設業の労働市場動向把握は重要である。そして雇用創出戦略事業と沖縄県産業・雇用拡大県民会議等の実施により、平成19年度は各産業分野において何人の雇用創出を目指していくのか。
- (2) 失業中の30代の就労機会をふやす「働き盛りの仕事探し応援プロジェクト」の取り組みの現状について

8 沖縄県行財政改革プランについて

- (1) 沖縄県保健医療福祉事業団は、沖縄県行財政改革プランにおいて財団自体のあり方について、廃止を含め検討することになっているが、検討状況はどうか。そもそも同財団は県民の保健及び医療の向上と福祉の増進を図るために設立されたものであるが、これまでは福祉部門の事業が県民からの緊急的かつ優先順位の高い福祉事業であったのかとの疑問を呈する声があるので、あり方の検討においては福祉部門の取り組みの強化が必要と考えるがどうか。
- (2) 今年度から県の12の社会福祉施設の経営権を譲渡された社会福祉事業団の経営状況と利用者への支障が生じていないかを明らかにしてほしい。

9 我が党の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成19年第1回沖縄県議会(定例会)

03月01日(木)

順位	時間	氏名 (会派)	答弁を求める者
6	20分	小渡 亨(自民党)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
1	<p>曲解されている「米軍基地の成り立ち」について</p> <p>(1) 銃剣とブルドーザーで強制接収された土地等について</p> <p>ア 具体的な場所・面積(ヘクタール)・戸数について</p> <p>イ 在沖米軍基地に占める割合は何%か。</p> <p>ウ 現在も米軍基地として使用されている場所及び割合は何%か。</p> <p>(2) 沖縄県民が進んで土地を提供し、基地を誘致した場所と面積(ヘクタール)は。</p> <p>(3) 返還された軍用地を、みずから再提供した場所と面積は。</p> <p>(4) 大田元知事が在職中に、軍用地として提供した場所と面積は。</p> <p>(5) (2)～(4)の項目中、積極的に提供・誘致した基地の在沖米軍基地に占める割合は何%か。</p>		
2	<p>曲解されている「沖縄には日本にある米軍基地の75%が集中している」ということについて</p> <p>(1) 知事の見解を伺いたい。</p>		
3	<p>日米地位協定の改定について</p> <p>(1) 改定のための協議が行われた場合、米国側が要求する可能性のある項目を、第17条、第18条について説明してください。</p> <p>(2) 米側の改定要求項目を日本側が受け入れる場合、日本の法律をどう変えなければならないか。</p> <p>(3) 改定作業は、それぞれの国において、法的にどのような手順になるのか。</p> <p>(4) 我が国政府の主張である運用改善では問題の改善にならず、どうしても改定が必要であるという県の主張の具体的な根拠を改めて説明してください。</p>		
4	<p>防衛省自衛隊採用予定者激励会について</p> <p>(1) 出席の有無は。</p>		
5	<p>沖縄空手について</p> <p>(1) 県立芸術大学に武道文化としての空手道科等の新設の可能性は。</p> <p>(2) 空手専門の道場等の建設の可能性は。</p> <p>(3) 県内、小・中・高校における、空手の活用の現状と問題点は何かがあるか。</p>		
6	<p>県議会議員の定数について</p> <p>(1) 他都道府県議会において今後実施される減数の状況について</p> <p>(2) 県内11市議会において今後実施される減数の状況について</p> <p>(3) 県内30町村議会において今後実施される減数の状況について</p>		
7	<p>我が党の代表質問との関連について</p>		

一般質問通告表

平成19年第1回沖縄県議会(定例会)

03月01日(木)

順位	時間	氏名(党派)	答弁を求める者
7	20分	佐喜真 淳(自民党)	知事 関係部長等
質問要旨			
1	観光立県沖縄の今後の展望について		
	(1) 入城観光客1000万人を達成するための施策について		
	ア インフラ整備について(特に空港整備について)		
	イ 国際線のさらなる拡大・拡充が不可欠だと思われるが、県の今後の取り組みについて		
	ウ 多様化する観光客ニーズや中長期滞在者のための取り組みはどのようになっているのか。		
	エ カジノ、エンターテイメント構想についての取り組みについて		
	(2) 中国上海万博の琉球館展示進出について		
	ア 国際海洋リゾート地を目指す沖縄県にとって万博は絶好の観光PRになると思うが知事の御所見をお伺いします。		
2	基地問題について		
	(1) 3年以内の危険性の除去のための取り組みについて		
	(2) 普天間飛行場の跡地利用について		
	(3) 海軍病院建設に伴う地元優先発注のための県の考え方について		
3	道路行政について		
	国・県道の渋滞の現状と対策について		
4	我が党の代表質問との関連について		

